

アプライド・セラピューティクス 投稿規定

1. 投稿者の資格

投稿原稿の筆頭著者は原則として日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会の会員とする。ただし、国外からの投稿の場合あるいは依頼原稿の場合はこの限りではない。

2. 著作権

本誌に掲載された論文、抄録、記事等の著作権は日本アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会に帰属する。

3. 論文の内容

分野は薬物治療に関するもので、研究報告（臨床研究、基礎研究、橋渡しの研究を含む）、情報提供に関わる調査研究、適正使用・医療経済等の研究、調査、解説、症例報告、ノートを含み、既に学術誌等に発表あるいは投稿されていないものに限る。

ヒトを対象とした研究では、世界医師会のヘルシンキ宣言の倫理基準に従い、所属施設等の倫理委員会またはこれに準じるものの承認を必要とする。また、動物実験に関しても、所属施設等の倫理委員会またはこれに準じるものの承認を必要とする。

3-1 具体的な分野の例

- 1) 予防や治療に用いられる医薬品、補助的非薬物治療（サプリメント等）の有効性、安全性に関する評価、解析
- 2) 予防や治療に用いられる医薬品、補助的非薬物治療の患者アウトカム、医療経済上のアウトカムに関する評価、解析
- 3) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、補助的非薬物治療の遂行上の課題の検討
- 4) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、補助的非薬物治療の確立のための取り組み上の成果・課題の検討
- 5) 科学的で合理的なエビデンスに基づく薬物治療、補助的非薬物治療の確立のための医学教育、薬学教育に関する課題の検討
- 6) 薬物治療ガイドラインの作成
- 7) 薬物治療を担う医療関係者の育成
- 8) 中立で公正な医薬品情報を提供するためのネットワークの確立

3-2 類別

本誌は主として、論文（一般論文、ノート、資料、総説、症例報告、コメンタリー）、および、寄稿を受け付ける。

論文

- ・ 一般論文：原則として、独創的研究により得られた薬物治療に関する新知見を含むものとする。
- ・ ノート：原則として、断片的な研究であっても新知見や価値あるデータなどを含むものとする。
- ・ 資料：必ずしも新知見だけではないが、教育的な観点から価値あるデータなどを含むものとする。
- ・ 総説：著者の研究実績に基づき、その関連領域の研究等をまとめ評したものとする。
- ・ 症例報告：薬物治療に関するもので、一般化するのには不十分であるが、単独あるいは少数の患者を対象として著者が評価、解析したもの。まれではあるが重要な有害反応、相互作用などを含む。
- ・ コメンタリー：著者の視点や個人的経験に基づいた事例証拠を元に、先に出版された論文・著書・報告書等に注目を促したり、批判を述べたりするものとする。編集委員会への手紙形式の記事、論文を含む。
- ・ 多くの資料を伴う場合には、共著者名・詳細な方法・結果の図表・引用文献等を Supplement として掲載することができる。その場合、本文末尾に Supplement があることを記載すること。

寄稿

編集委員会が執筆を依頼するトピックス的話題、教育資料、学会発表記録、学会ワークショップ記録など。

3-3 用語

和文または英文とする。

3-4 論文の長さ

規定しない。

Supplement についても、頁数は規定しない。

3-5 書式

- 1) 原稿の1枚目に、表題、著者名（ローマ字綴りも記載）、所属機関名とその所在地（所在地は筆頭著者のみ）、連絡用E-メールアドレスを記す。
- 2) 2枚目には、要旨（和文論文の場合、投稿時には和文のみ（目安600字）と5個以内のkeywords（日本語と英語）を記す。なお採択が決定されたのち、和文要旨に沿った英文サマリ

一（目安300 words）を添付する。その際、英文チェックを著者の責任で受け、その旨の証明書を添付する。

3) 本文は改めて3 枚目から始める。

4) 図・表・写真

- ・ 図、表を作成する際は、アプライド・セラピューティクス図表作成基本規定（別ファイルとして学会ホームページ_学会誌に掲載する）を参照する。
- ・ それぞれ Fig., Table, Photo. と記し、複数の場合は通しナンバーを付す。必ず標題を付け、本文とは別に添付する。
- ・ 画像ファイル（gif、jpg、png、tiff、bmp）で作成する。カラーで作成しても良い。
- ・ 用紙サイズ：A4
- ・ 余白：上下左右ともに 20 mm（ユーザー設定）
- ・ 段組み：縦 2 段（1 段の横幅の場合 77.5 mm、2 段すべての横幅の場合は 170mm）
- ・ 図表類の引用箇所は本文中あるいは欄外に明記する。
- ・ Excel・Word・Power Point 等で作成された表データについて、編集局に作成・編集を依頼することができる。また、掲載時に編集局にて作成・編集する場合がある。

5) 医薬品の記載方法

商品名を使用する場合は商標名で記載し、その末尾文字の右上に添え字で登録商標記号®を付ける。日本で承認されていない医薬品名は英語表記とする。

〈記載例〉

一般名 カルベジロール 商品名 アーチスト錠®

6) 単位の記載方法

第 17 改正日本薬局方（2016 年）に基づく国際単位系（SI）を用いる。但し、mmHg、Osm、mg/dL 等医療上汎用されている単位は使用できる。

〈日本薬局方における主な単位〉

セルシウス度 °C、リットル L、ミリリットル mL、マイクロリットル μL など

7) 引用文献の記載方法

本文該当部の右肩に引用順に番号を右片カッコで記し、本文最後の文献の項に整理して記す。引用文献は統一規定で使用されている書式に準じる。記載例で不明な場合、以下を参照すること。

- ・ Uniform requirements for manuscripts submitted to biomedical journals: Writing and editing for biomedical publication. J Pharmacol Pharmacother. 2010;1:42-58.
- ・ U.S. National Library of Medicine. Samples of Formatted References for Authors of Journal Articles. [https://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html]

(accessed 2019-4-17)]

・ 雑誌

① 全著者名、② 論文題名、③ 雑誌名、④ 発行年、⑤ 巻数、⑥ 頁数（始め-終わり）の順に記す。DOIもあれば記載する。

〈記載例〉

- 1) Galia E, Horton J, Dressman JB. Albendazole generics—a comparative in vitro study. *Pharm Res.* 1999;16:1871-5.
- 2) Schindler E, Friberg LE, Lum BL, Wang B, Quartino A, Li C, Girish S, Jin JY, Karlsson MO. A pharmacometric analysis of patient-reported outcomes in breast cancer patients through item response theory. *Pharm Res.* 2018;35:122. <https://doi.org/10.1007/s11095-018-2403-8>.
- 3) 林 洋子, 堀内 淳子, 中田 和宏, 金井 紀仁, 山岡 和幸, 佐村 優, 緒方 宏泰. 医薬品の有効性評価における問題点—統計的有意性と臨床的に意味のある差—. *アプライド・セラピューティクス.* 2017;9:19-31.

・ 単行本

① 著者名、② 書名、③ 版数および巻数、④ 編集者名（編集者や学会・研究会などが著者の場合は①に記載する）、⑤ 発行地、⑥ 出版社、⑦ 発行年、⑧ 頁数（始め-終わり）の順に記す。

〈記載例〉

- 1) 緒方宏泰, 増原慶壮, 松本宜明, 木島慎一, 高橋晴美. 臨床薬物動態学：薬物治療の適正化のために. 第3版. 緒方宏泰編. 東京, 丸善, 2015, 78-81.
- 2) 日本アプライド・セラピューティクス学会編. 2 ページで理解する標準薬物治療ファイル. 第2版. 東京, 南山堂, 2015, 42-3.
- 3) Rowland M, Tozer TN. *Clinical Pharmacokinetics Concepts and Applications.* 3rd ed. Pennsylvania, Lippincott Williams & Wilkins, 1995, 119-36.
- 4) 睡眠障害の診療・治療ガイドライン研究会, 内山真編. 睡眠障害の対応と治療ガイドライン. 第2版. 東京, じほう, 2002, 262-3.

・ インターネット上の文書

① 公開元、② 文書名、③ URL、④ アクセスした年月日の順に記す。

〈記載例〉

- 1) 厚生労働省. ICH-E9 臨床試験 臨床試験のための統計的原則. [<https://www.pmda.go.jp/int-activities/int-harmony/ich/0031.html> (accessed

2019-4-17)]

・ 医薬品インタビューフォーム

① 販売名、規格・含量、② 製造販売会社名、③ 発行年月、④ 版数の順に記す。

〈記載例〉

1) IF: アマリール® 0.5 mg錠・1 mg錠・3 mg錠. サノフィ, 2017年3月改訂 (第22版).

・ 医薬品審査報告書・申請資料概要

① 資料名、②一般名あるいは販売名、③独立行政法人医薬品医療機器総合機構あるいは製造販売会社名、④報告年月日 (審査報告書の場合)、⑤ページ数の順に記す。

〈記載例〉

1) 審査報告書. エキセナチド, 独立行政法人医薬品医療機器総合機構, 平成22年8月9日, 35頁.

2) 申請資料概要. トルリシティ皮下注 0.75 mg アテオス 2.7.1 生物薬剤学試験及び関連する分析法. 日本イーライリリー, 13頁.

4. 利益相反(Conflict of Interest: COI)の記載*

論文の著者全員は、当該論文が関わる COI 状態について本学会の「利益相反規則」に従い、所定の書式(様式 2: 自己申告による COI 報告書)により、掲載前に学会事務局へ届け出なければならない。また、著者は同内容を論文末尾、謝辞または引用文献の前に記載する。開示すべき COI 状態がない場合には、「開示する利益相反はない」または「The authors have no conflict of interest to declare.」などの文言を同部分に記載する。

*: 所定の書式による届け出、COI 状態の記載については学会ホームページを参照のこと。

(試行期間中はホームページの利益相反ページ利益相反附則を参照下さい。)

5. 投稿手続き

原稿、図・表・写真などを下記宛に電子媒体で送付する。電子媒体で送付できない場合には個別相談とする。なお、原稿受領時、査読依頼前に文献記載など様式を確認し、必要であれば著者に修正を求める場合がある。

<送付先>

日本アプライド・セラピューティクス (実践薬物治療) 学会

『アプライド・セラピューティクス』編集局

メールアドレス: applied-therapeutics@mirai-mugen.co.jp

6. 審査と採否、掲載

- ・ 投稿された原稿（一般論文、ノート、総説、資料、症例報告、コメンタリー）は審査員2名による査読の上、採否を決定する。審査によって返却され、再提出を求められた原稿は、返送日の1か月以内に再提出すること。1か月を経過して再提出された場合は、新規投稿として扱われる。期限内に提出が不可能な場合は個別相談とする。
- ・ 寄稿は査読を行わないが、掲載にあたっては原稿の一部修正を求めることがある。
- ・ 掲載は採択順を原則とするが、審査・編集上の都合によって前後することがある。
- ・ 審査は無料である。

7. 論文掲載料

A4(フォント10ポイント)PDF1ページあたり1,000円（消費税込み）とし、Supplementは頁数に限らず一括1,000円を加算する。口座振り込みで支払う。寄稿の掲載料は無料である。

振込先口座

三菱 UFJ 銀行

所沢支店 (295)

普通口座

口座：0033824

名義：日本アプライド・セラピューティクス学会

※掲載料は、採択論文の編集作業が完了した後に通知する。振込期限は、通知後から2週間以内とする。

※振込手数料は投稿者が負担する。

※必ず個人名で振込み、企業名による振込の場合、振込金額、振込人名義を学会事務局までメールで連絡すること (ats@mynavi.jp)。

※原則として、入金確認後に、論文を掲載する。

8. 別刷り

別刷りは受け付けない。

9. その他

- ・ 著者校正は1 回行うこととする、誤植以外の追加・修正は原則として認められない。
- ・ 寄稿については査読を行わないが著者に編集上の修正を依頼することがある。
- ・ 引用する図・表の掲載許可が必要な場合、論文については原則著者がとり、費用は著者が支払う。寄稿については、編集局が行い、費用は学会が負担する。

本規定は、2019年5月1日より施行する。

2009年11月 制定（初 版）

2010年 8月 改訂（第 2 版）

2011年 3月 改訂（第 3 版）

2013年 3月 改訂（第 4 版）

2015年 9月 改訂（第 5 版）

2018年 9月 改訂（第 6 版）

2019年 5月 改訂（第 7 版）